

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年8月1日 ~ 2024年7月31日)

2024年9月1日 発行

株式会社 砂塚製作所

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境管理体制
6. 環境経営計画、環境経営目標の実績、
取組結果とその評価及び次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

1. 組織の概要

- 【会社名】 株式会社 砂塚製作所
- 【代表者】 代表取締役 砂塚 和宏
- 【所在地】 本社
群馬県みどり市笠懸町久宮398－8
TEL 0277-76-0591
FAX 0277-77-0411
- 【環境管理責任者】 砂塚 和宏
- 【事業の規模】 2023年度（2021年8月～2022年7月）
売上高 165百万円
延床面積 本社 1930.95㎡
従業員数 20人
- 【事業内容】 自動車用金属部品製造業
（丸鋸切断機、NC旋盤、マシニングセンタ等を使用し金属加工を行う量産部品メーカー）

2. 対象範囲

全組織・全活動

3. 環境経営方針

理 念

株式会社 砂塚製作所は、お客様や社会から信頼と満足をされる
自動車の部品加工製品を提供するにあたり、環境と調和した企業活動
を行い、循環型社会の実現に貢献します。

方針

1. 環境経営に積極的に取組むために、環境経営システムに取り組み、
環境関連の法令、条例等を遵守すると共に、地域・業界・顧客の環境関連
要求事項に配慮し、継続的な環境活動の改善を図ります。
2. 環境への取組として、環境目標及び行動計画に下記の重点項目を定め
環境方針に整合した活動を行います。
 - 1) 電力及び燃料使用の省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量の
削減を推進
 - 2) 再生資源の利用・廃棄物の分別に取り組み、廃棄物排出量の削減を推進
 - 3) 現場・作業場の用水利用の管理に取り組み、排水量・水使用量の削減を
推進
 - 4) 化学物質使用量の削減を推進
 - 5) 製品の不良率の低減を推進
3. この環境方針を全従業員に周知し、環境保全への意識の向上に努めます。

改定日 令和1年8月 1 日

株式会社 砂塚製作所

代表取締役 砂塚 和宏

4. 環境経営目標

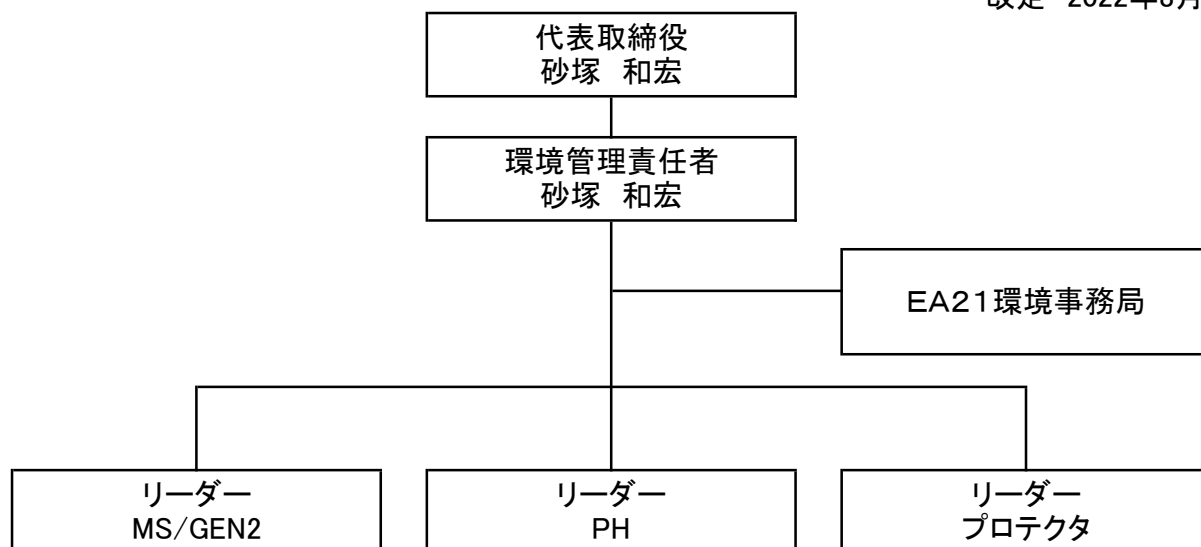
審 査	作 成
社長	砂塚

電力の二酸化炭素排出係数(調整後)0.318(kg-CO₂/kWh)関西電力を使用

環境目標	基準(実績)	年度目標	中期目標	
	2022年度	2023年度	2024年度 (2023年実績 に対し)	2025年度
	通年 2022年8月 ～2023年7月	通年 2023年8月 ～2024年7月		
1. 二酸化炭素排出量の 削減	234,193 kg-CO ₂	1.%削減 231,851 kg-CO ₂	1.%削減 229,533 kg-CO ₂	1.%削減 － kg-CO ₂
1-1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	664,516 kWh	1.%削減 657,871 kWh	1.%削減 651,292 kWh	1.%削減 － kWh
1-2 自動車燃料使用量の 削減	2,130 L	1.%削減 2,109 L	1.%削減 2,088 L	1.%削減 － L
2. 廃棄物排出量の削減(廃油) * 前年度は異常値の為、 前々年度に対し	2,376 Kg	1.%削減 2,352 Kg	1.%削減 2,329 Kg	1.%削減 － Kg
2. 廃棄物排出量の削減(切り屑)	253,456 Kg	1.%削減 250,921 Kg	1.%削減 248,412 Kg	1.%削減 － Kg
3. 水使用量の削減	371 m ³	1.%削減 367 m ³	1.%削減 364 m ³	1.%削減 － m ³
4. 製品の不良率低減	0.24 %	0.24 %	－ %	－ %

5. 環境管理体制

改定 2022年8月1日



	役割・責任・権限
代表取締役	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体評価と見直し・指示を実施 ・ 環境経営レポートの承認 ・ 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理。 ・ 環境関連法規等のとりまとめ表を承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーション ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 問題点の発見、是正、予防処置 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

6. 環境経営計画、環境経営目標の実績、 取組結果とその評価及び次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果とその評価（2023年8月～2024年7月）				
	環境目標	実績	達成率（%）	評価	
1. 二酸化炭素排出量の削減	1%削減 231,851 kg-CO ₂	189,172 kg-CO ₂	123%	◎	電力使用量は前年比削減。生産高が前年より減少
1-1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	1%削減 657,871 kWh	548,920 kWh	120%	◎	電力使用量削減は達成。設備の稼働時間が前年に対し削減。
1-2 自動車燃料使用量の削減	1%削減 2,109 L	2,135 L	99%	△	客先要望により、突発的に客先への運送が増加したため
2. 廃棄物排出量の削減（廃油）	1%削減 2,352 Kg	2,400 Kg	98%	△	工作機械の油圧ホース破損により切削液の更油頻度が増加
2. 廃棄物排出量の削減（切り屑）	1%削減 250,921 Kg	202,166 Kg	124%	◎	前年より生産高が減少した。
3. 水使用量の削減	1%削減 367 /m ³	353 /m ³	104%	◎	各社員の節水意識の向上による。
4. 製品の不良率低減	0.24%	0.24%	100%	◎	不良率の低減は達成。さらなる低減ができるように工程内の管理を行う。

◎ : 達成率100%以上
△ : 達成率100%未満
× : 達成率90%未満

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(設備・物質等)	順守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物・一般廃棄物	順法
フロン排出抑制法	産業用空調設備	順法
騒音・振動規制法	コンプレッサー	順法
浄化槽法	点検及び法定11条検査	順法

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘と苦情は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

本年度は、環境目標に対し自動車燃料使用量の削減・廃棄物(廃油)の削減が未達でした。未達の原因は、自動車燃料使用量の削減については客先要望により、突発的な運搬回数の増加によるものである。廃棄物(廃油)の増加は、油圧ホース破損により、切削油の更油の頻度が増加したので、予定外のロスにつながってしまった。

客先の要望にも柔軟に対応しながら、今後も省エネの意識・行動を着実に実践し、来年度も引き続き、全社員でさらなる削減を目指し取り組んでいきたい。

見直し項目	指示事項
① 環境経営目標	変更なし
② 環境経営方針及び環境経営計画	変更なし
③ 実施体制	変更なし